

情報科学演習
第9回
復習とオリジナルページの作成

目 次

1	本日の目標	1
2	本日の実習	1
2.1	自分のページの充実に関するヒント	1
2.2	授業で紹介したタグのまとめ	2

1 本日の目標

- 自分の Web ページを充実させる.
- 自分のオリジナルページを作成する.
- 前回までの講義内容で実行していない部分をやり終える.

講義の過去のテキストは次の場所にあります. HTML 版の方が修正をしており, より正確です.

<http://www.math.u-ryukyu.ac.jp/~suga/joho/2006B/>

web ページの評価基準は次の場所にあります.

<http://www.math.u-ryukyu.ac.jp/~suga/joho/2006B/08/node16.html>

プリントの最後で授業で触れたタグをまとめました. オリジナルページ作成の参考にして下さい.
終了 10 分前には, アナウンスをしますので, 今日の結果をバックアップして下さい.

2 本日の実習

過去にこの授業で講義した内容を思い出しながら, 次の作業をして下さい.

1. 「マイ ドキュメント」からフォルダ「WWW」をデスクトップにコピーする.
2. フォルダ「WWW」の中にフォルダ「MYORG」を作り, その中に myorg.html を作成して, 自分のオリジナルページを作成する.
3. 前回作った自分の Web ページのトップページ (index.html) の内容を充実させる.
4. 前回までに作った Web ページ間の相互リンクを作成するとともに内容を充実させる.

上でやる作業結果は, 最終的には大学の Web サーバに置く事になりますので, 適宜 FFFTP を用いて Network 経由での結果も確認して下さい.

2.1 自分のページの充実に関するヒント

- 友達紹介のページで, 写真をクリックするとその人のページにジャンプするようにリンクを張る. 次のようにします.

```
<a href="http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~e069999/">  
  
</a>
```

- 時間割のページで授業名とその授業のページをリンクする. 例えば, 金曜日 3 限目の情報科学演習だと,

```
<td> <a href="http://www.math.u-ryukyu.ac.jp/~suga/joho/2006B">  
情報科学演習  
</a> </td>
```

となる. 授業のページが無いのはシラバスとリンクする.

2.2 授業で紹介したタグのまとめ

基本的に HTML は、文書の論理構造と相互参照を印付ける (Markup する) 言語です。文書の見栄えを整えるためのものではありません。授業で触れていないタグも沢山あります。Web ページを作るのにそれらを用いても構いません。ただし、非推奨なタグは使わないようにしましょう。

文書型定義

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
```

文書の先頭に、文書型の定義を書きます。この講義では上しか使いませんが、他の文書型もあります。

タグの書き方

```
<タグ名 属性名 1="属性値 1" 属性名 2="属性値 2"...> --- </タグ名>
```

- 少数の例外を除いて、タグは開始タグと終了タグのペアで用いる。
- 複数の属性の指定は 1 バイトスペース (半角の空白) を間に入れる。(いくつ入れても良い)
- 属性値はダブルクォーテーション " で囲む。

一番外側のタグ

```
<html> --- </html>      HTML 文書全体の開始と終了。
```

Header

```
<head> --- </head>
```

Header の中に書くもの。

- <title> --</title> 文書のタイトル
- <meta http-equiv= ... 以下略> 内容や文字コードをブラウザに知らせるもの

他にも、そのページのリンク先や作成者のメールアドレスを書く事が推奨されている。リンク先は、検索サイト (google 等) の検索ロボットが使う。作成者のメールアドレスは HTML の規格では書く事を推奨されているが、実際には迷惑メールの原因となるので書かない方が良い。

Body

```
<body> -- </body>
```

HTML 文書の中身。読み手に伝えるべき内容を、論理構造と相互参照を付け加えて書く。

- <h1> -- </h1> 第一の見出し。見出しタグは、h1 – h6 までである。
- <p> -- </p> 段落 (paragraph)

- 箇条書き (リスト)

1. `<ol> -- </ol>` 番号付き (ordered list)
2. `<ul> -- </ul>` 番号付き (unordered list)
 - `<li> -- </li>` 1, 2 でのリストの要素
3. `<dl> -- </dl>` 定義型リスト (definition list) リストの内容は下のようを書く.
 - `<dt> -- </dt>` 定義される内容.
 - `<dd> -- </dd>` 定義する内容.

- 表 (table)

- `<table border="数字"> -- </table>` 表全体, border は枠の太さ.
- `<tr> -- </tr>` 1 行がこの中に入る.(table record)
- `<th> -- </th>` 表の見出しを書く.(table header)
- `<td> -- </td>` 表の 1 つの要素.(table data)

- `` 画像. ファイルを指定するときのフォルダの移動方法に注意. 縦・横はブラウザの処理を助けるために書く. 代替文字は, 画像が表示できない環境や, 目の不自由な人への配慮.

- `<a href="URI"> -- </a>` リンク (anchor)

- `<br>` 改行. 改行はブラウザが自動的に行うか, 横スクロール可能になるかで, 基本的に文書中に書く必要がない. 但し住所表記等では明示的に改行を入れた方が良い事もある. 例えば

〒 903-0213

沖縄県中頭郡西原町千原 1

琉球大学〇〇学部□□学科

Web ページのアクセス制限

前回作った .htaccess というファイルで, フォルダ (ディレクトリ) 単位でアクセス制限ができます. そのルールは, 「フォルダ内にある .htaccess はそのフォルダ内 (サブフォルダの中も) 全てに適用される」です. Web ページを学外にも公開したい方は, .htaccess の置き場所を変更して下さい. そのときにも次の事は守って下さい.

他人のプライバシーは外部に出さない.
著作権法違反はしない.
公序・良俗に反する内容は書かない.

アクセス制限がうまくできているかは, 例えば携帯電話で自分のページを見ると分かります.

.htaccess の記述が間違っていると, “Internal Server Error” となって Web ページの表示ができません. このときには, 第 8 回のテキストにしたがって再度作り直して下さい. 英文の綴りや, 数字, コンマ, ピリオドに注意して下さい.